

## 地球環境時代における教育小委員会 第2回議事録(案)

日時：平成17年 8月 2日(火) 15:30～17:30

5

場所：建築会館 307会議室

出席者：吉野(博)(東北大学) 三浦(東北芸術工科大学) 菅原(宮城教育大学) 小澤(東京学芸大学)  
妹尾(住宅総合研究財団) 高橋(東海大学) 西川竜二(秋田大学) 石井洋平(技報堂出版)  
岩本泰(東京学芸大学連合大学院 小澤研)  
：9名

10

資料：2-0 地球環境時代における教育小委員会(+刊行委員会) 第2回 議事次第

2-1 地球環境時代における教育小委員会 第1回 議事録(案)/菅原委員

15

2-2 温暖化防止型ライフスタイル推進のための行動計画 パンフレット/吉野(博)主査

2-3 教育普及事業委員会 教育顕彰制度検討小委員会中間報告

本会の教育の章の枠組みについて(案)/吉野(博)主査

2-4- 教育実践支援・教材開発・普及支援など(小澤研究室HPより)/小澤委員

20

2-4- 自然の恵みを大切にす住まい。 阪神・淡路大震災から立ち直った中北さん一家の  
家づくり。(OIDE通信より)/小澤委員

2-4- わたしたちが育てる まちと建物(発行 BELCA)/小澤委員

2-4- (新)「我が家の環境大臣」事業(環境省 総合環境政策局 環境教育推進室)  
/小澤委員

25

2-4- Eco Family シール+我が家の環境大臣任命証+「我が家の環境大臣」パンフレット  
+ようこそあなたも今日からエコファミリー!

+素敵なエコライフを提案するライフスタイル・マガジン「eco」

+Ecocho(エコ帳)/小澤委員

2-4- MESSAGE from the EARTH 地球温暖化 /小澤委員

30

2-5- 空気調和・衛生工学会表彰制度および各賞受賞者一覧(HPより)+

第16回空気調和・衛生工学会振興賞高校教育賞 茨城県立大宮工業高等学校に  
おける「ルームエアコン施工実習」の取組み(空気調和・衛生工学、第76巻、  
第5号、pp.75-81)/高橋委員

2-5- 雨の環境学習(日本建築学会編 暮らしに活かす雨の建築術、pp.138-139)+

水に関する情報普及システム(同、pp.146-149)/高橋委員

35

2-5- 雨水利用に関する意識調査と体験学習の研究(今年度大会の梗概より)/高橋委員

2-6 「地球環境時代における住環境教育プログラム事例集(仮)」出版打合せ/石井氏

2-7 委員会活動の方向性について/菅原委員

2-8- エネルギー教育先進校の取り組みから学ぶもの(広領域研究会資料より)/妹尾委員

40

2-8- アメリカにおけるエネルギー環境教育(エネルギー環境教育の理論と実践、pp.46-54)  
/妹尾委員

議事：

### 1. 議事録確認

前回議事録(資料2-1)は2ページ28行目「中北幸太氏」を「中北幸氏」に修正して承認された。

45

### 2. 温暖化防止型ライフスタイル推進のための行動計画

吉野(博)主査から、標記(資料2-2)について説明された。

これに関連する市民向け叢書が来年4月頃出版される予定。

### 3. 学会の教育顕彰制度の検討状況

吉野(博)主査から、標記(資料2-3)について説明された。

### 4. 「我が家の環境大臣」事業ほか建築環境教育の事例

5 小澤委員から、標記(資料2-4- )について説明された。

(小澤) JACCA(全国地球温暖化防止活動推進センター)では、環境学習に Web だけで参加させるのではなく、地域センターを作り、推進委員を育てている。その背景には環境カウンセラー制度(企業部門、市民部門)があり、企業部門の環境カウンセラーが地域の推進委員となっている。今年の3月に長崎で全国大会をした。この動きには、環境基本法(1993)の25条(環境学習)と26条(環境保全活動)に基づいて、環境教育推進法(2003)ができたことが大きい。横浜市などは熱心に取り組んでいる。建築学会もアピールしてはどうか。

15 他に、東京電力や東京都の水道局では、各家庭が自らのエコ度をHPで確認でき、またニックネームなど匿名でランキングされていて、競争心を持たせるようになってきていることや、その一方で Kids' ISO は学校を通してデータが扱われるので、プライバシーの問題が避けられないことが指摘された。

### 5. 空気調和・衛生工学会振興賞高校教育賞

20 高橋委員から、標記(資料2-5- )について説明があった。

### 6. 雨の環境学習

高橋委員から、標記(資料2-5- )について説明があった。

25 雨水利用の用途として洗濯が最も適しているかどうか分からないが、利用実態や事例を調査して、環境学習として相応しいかどうかも含めて検討する予定。

### 7. 刊行について

石井氏から、標記(資料2-6)について説明があった。

30 (石井) 例えば、雨水利用についてはタカハシユタカ氏が20年前に本を出したが受け入れられなかった。小中高校など学校教育現場にこのような情報をどうやって浸透させるかが、出版業界の悩み。行政機関などで住環境教育に関連する多くの取り組みがあるが、これらと競争するのではなく「材料の提供」に徹する。

35 (小澤) CD-ROM も付けて、ワークシートなど提供したい。  
学校教育現場で買ってもらうために、助成金など利用して安価に押さえたり、「すぐ役立つ」などタイトルにも工夫が必要。

### 8. 国内外のエネルギー環境教育

40 妹尾委員から、標記(資料2-8- )について説明があった。

(小澤) 欧米では「住居 = Living Machine (人間生活を支える機械)」という考え方がある。

(高橋) 日本大学の糸永先生が大掛かりな実験をしている。

### 9. 次回開催日

45 次回委員会は、9月16日(金)17:00~19:00 建築会館会議室で行う。

・井元りえ氏から「イギリスにおけるエネルギー教育」など。

以上